

日田市女性防災士の懇談会が開催されました！

去る9月16日(水)、日田市役所で日田市の女性防災士による懇談会が開催されました。

この度の令和2年7月豪雨では、観光地である天ヶ瀬温泉を中心に各地で災害が発生して、今も支援の手を必要としています。そのような中、当時の事や今後の活動について意見が交わされました。

市の職員や NPO、女性消防団といった様々な組織で平時から防災活動に携わる防災士が多く、その中には発災時、高齢者を避難所に連れて行くなど、積極的に活動をされた一方で、すべき活動が解らなかった防災士もありました。



そのような意見を受

け、これからは、定期的集い、そして互いに学び合い、顔の見える“つながり”を築いていくことになりました。

昨今、“女性目線での防災”がクローズアップされています。それは何故でしょうか。

まずは、発災直後の緊急時でも、被災者に、きめ細かく心配り・目配りができるのは“女性”です。また避難所等の性犯罪への対策も挙げられるでしょう。

他方で、発災前の取組にも女性の目線は不可欠です。例えば、非常持出袋の準備物や避難所の備蓄などが挙げられます。

東日本大震災で、避難所や仮設住宅の生活を経験された元女性消防団の方が言っていました。

「女性がネットワークを作り災害時、活動しやすい環境を整えておくことは大切です。しかし、それ以前に、**品格のある、凛とした女性**も求められます。それこそが、より多くの人々を守ることに繋がります。」

防災に取り組む女性には欠かせない貴重なお言葉です。